

## 令和3年度 湘南養護学校 コミュニティ・スクール 報告 その2



コミュニティ・スクールとは… コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と保護者や地域の方々が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる仕組みで、湘南養護学校でも、令和2年度より設置しています。また、学校運営協議会を設置した学校のこと、コミュニティ・スクールと呼びます。

今年度、3回目のコミュニティ・スクール(第3回 学校運営協議会)を11月9日(火)に本校の軽作業室で開催しました。第2回目は、8月24日(火)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が8月2日(月)より発令され、外部の方々の来校を制限することとなり書面開催に変更し、運営委員の皆様へ書面資料にお目通しいただき、感想やご意見をいただきました。

今回(第3回)は、新型コロナ感染も落ち着き久しぶりに運営委員の皆様へ本校へ来校いただき開催することができ、会議終了後に希望された委員の方に校内をご案内し、短時間ではありますが各学部の授業の様子もご覧いただくことができました。昨年度来、校内をご案内できたのは初めてでした。学校評価部会を主とし、第1回でご承認をいただきました学校目標の中間評価と後期の取組に向けた重点ポイントについて提示し、ご承認をいただきました。第2回、第3回を合わせて報告します。

### 第2回 学校運営協議会(書面開催) 8月24日(火)を目途に書面資料送付にて実施

運営委員の皆様へ教育活動の紹介として、本校の教職員の専門性の向上への取組についての資料を書面で送付し、疑問点、「ご意見等記入用紙」に記述していただき、返送していただきました。資料の内容とご意見等を一部ですが報告します。

#### 1 『湘南養護学校ブランド』紹介 ※「支援方法の紹介」は、『湘南ブランド』ACC を活用したコミュニケーションによる教育活動の紹介です。

共生社会の実現への一歩として、“支援の必要な方々”への支援方法について知っていただく機会として、様々な計画をしていましたが、新型コロナまん延防止等重点措置および緊急事態宣言の発令により、5月地域の保護者向け福祉事業所合同説明会での紹介、6月本校保護者向け、7月地域の方々向けの公開研修会「支援方法の紹介」を参集開催での計画を変更し、動画視聴で配信しました。また、「夏の教材展」として近隣の小・中学校等の教職員の方々に、本校の教員が児童生徒の実態および「個別教育計画」に基づいて作成し、指導に活用している教材教具を展示する計画も、来校していただくことができなかったため、一部の教材の写真を書面で紹介させていただきました。



「言語での理解や表出に困難を感じている方々への支援ツールとして大変参考になるが、動画視聴のアクセス方法を簡易にする工夫ができれば、さらに多くの方々に知っていただけたらと思う。」というご意見をいただきました。

## 2 自立活動教諭(専門職)の活動紹介

県立の特別支援学校 29 校を 5 ブロックに分け、ブロックごとに配置されている自立活動教諭(専門職)の役割や本校の自立活動教諭(の活動の様子を資料で配付。「これまで、自立活動教諭(専門職)の配置やその役割についての詳細をよく知らなかった」というご意見を多くいただき、第 3 回学校運営協議会で改めて、紹介させていただくことにしました。

## 第3回 学校運営協議会 11月9日(火)本校で開催

### 1 令和3年度 学校評価(中間評価)

■令和3年度 中間評価「安心・安全な教育環境の整備と学びの保障」 (別紙資料)



#### ご意見・ご質問等

- ・特例子会社でも“ケース会議”があり、困っている社員がいたら、本人、保護者、会社関係者で集まり、対策を考えていますが、「1教育課程・学習指導の中間評価・取組状況」にある“ケース会”も同じものか？
  - チームで課題等に対応していくという点で、同じです。その時々、会に参集するメンバーは変わりますが、学校では、担任以外に専門職等が入る場合があります。
- ・「3進路指導・支援の取組状況」に『自分を振り返ろうシート』を活用し、自己理解と課題解決を実践している」とあるが、生徒が現場実習に来る時は、教員が作成した「個人票」をもらうが、生徒自身が書いたものを見られたら、企業としてはより参考になる。実習の際に、一緒に提出してもらえないか。
  - 高等部、進路担当等に伝え、検討します。
- ・「1教育課程・学習指導」に関する目標で『対話的で深い学び』とあるが、工夫例などを教えてほしい。
  - “湘南ブランド”にあるコミュニケーションツール等を見童・生徒それぞれの特性に合わせて活用し、自分の思いを発信できるようになることを目指しています。

・「2児童・生徒指導・支援」の取組状況に「ICT 機器を利用した学習支援のための研修を実施した」とあるが、ICT 機器の具体的な活用例を教えてください。

- タブレットの使用で、高等部では、インターネットにつないで調べ学習をする、小学部では納豆のネバネバ感をアニメーション的に表現するソフトを使って、物(納豆)の性質の感覚的な理解や擬態語の理解につなげる、また、小学部で学習内容や手順をパワーポイントの画像で大型テレビに映し、視覚的に理解しやすくするなどを行っています。
- 自閉症の方で言葉を発しないが、パソコンやタブレット、五十音表等利用して自由に意思表示ができる方がいます。(東出直樹氏)学校では、その人に合った適切なコミュニケーション手段を見つけ、教えてください。

・平塚市こども発達支援センターで湘南養護の作品展を実施しており、就学前の幼児と保護者が、就学先としてのイメージを持つとても良い機会になっている。

- 本校は、作品展などを通じた情報発信を大事にしています。今後、平塚養護とも連携して、トヨタ販売店で作業班の作品販売を予定しています。(感染状況を見ながら)中原公民館とも連携したいと考えています。

・「2児童・生徒指導・支援」の中間評価の取組状況で「生徒への厳しい言葉かけが見受けられる」とあるが・・・

- 人権尊重から「さん」づけ呼称を推進していますが、とっさの時にはつい大声で静止することもあり、その反省としての記載です。なお、このような反省ができるのもチームティーチングが機能している(互いに指摘し合える関係)とも考えています。

※今年度の学校目標(中間評価)について委員の皆様より承認をいただきました。

## 2 教職員の専門性の向上への取組の紹介

### ■ 自立活動教諭(専門職)の活動紹介 (第2回学校運営協議会 書面資料で紹介したもの)

県立特別支援学校の自立活動教諭(専門職)の配置や目的、主な仕事と理学療法士(PT)、言語聴覚士(ST)、作業療法士(OT)、心理職の4職種の中で、湘南養護には作業療法士(OT)と心理職の2名の配置。それぞれの専門性をもとに、校内の児童・生徒のより良い指導、支援のための助言等を教職員と連携しています。また、センター的機能として他校の専門職との連携、地域の幼稚園、保育園、小・中学校、高校への支援も教育相談コーディネーター等と連携し実施しています。

## ご意見・ご質問等

- ・湘南養護のホームページに、各専門職部会から「心理職だより」「OT だより」などを掲載し、取得できるようにしてほしい。  
→ 専門職部会にも伝え、検討していきます。
- ・専門職等の巡回相談は、企業や福祉にいる生徒に対しては行えないのか。  
→ 卒業生のアフターフォローとして可能。
- ・中学校の特別支援級で、作業学習の授業をどのように組み立てるか難しい。相談可能か。また、通常級にも気になる生徒がいます。 → 相談可能です。センター的機能には、個々の生徒の支援という役割と支援を必要とする児童・生徒の指導に関わる教員の指導力向上に寄与するという役割もあります。一緒に取組みましょう。
- ・平塚市にも高校生の保護者からの相談が増えている。在籍する高校のスクールカウンセラーに相談するよう伝えているが湘南養護への相談を紹介できるか。また、相談支援センターを運営しているが、専門職との連携は可能か。  
→ 専門職は、支援連携グループに所属しており、教育相談担当や進路担当とも連携可能です。また、小・中・高校とも連携することができます。

## ■(学校独自)部会設置の方向性について

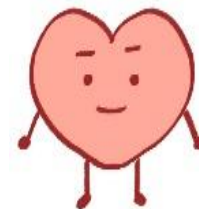
出縄会長より『次年度に向けて、(学校独自)部会の設置を検討し、学校の活動を積極的に支援したい。また、各委員のバックグラウンドの福祉、特例子会社、中学校、自治会、平塚市、公民館からの情報等が学校(児童・生徒・保護者)に伝わるようにしたい』とのご提案をいただきました。

今回は、十分な話し合いの時間が取れず、委員の皆様のそれぞれのご意見をいただくところまでとなりました。次回、改めて話し合いを深めることとなります。

今後の湘南養護学校 コミュニティ・スクールの方向性の枠組みについて、検討する予定です。

次回: 第4回学校運営協議会 12月21日(火) 午前開催予定

※学校運営協議会は、保護者や地域の皆様の傍聴ができます。  
希望される方は、事前にご連絡をお願いいたします。



問合わせ先  
副校長 大谷  
電話 0463-31-7244